

令和6年度農作物病害虫発生予察注意報第1号

令和6年4月23日
山口県病害虫防除所

病害虫名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
対象作物 ナシ、モモ、リンゴ、ウメ、カンキツ、ビワ等果樹全般

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 4月～7月

3 注意報発令の根拠

- (1) クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(県内10か所)では、1トラップ当たり96.4頭(平年23.3頭)であり、過去10年で最も多かった(図1)。
- (2) 4月1日～15日の予察灯における果樹カメムシ類3種の捕獲数(県内3か所)は1頭(平年0.5頭)で、平年に比べやや多かった。
- (3) ビワ幼果への果樹カメムシ類の飛来がすでに認められており、園地への飛来が例年に比べ早まる可能性がある(図2)。

4 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類の飛来時期や量は、地域や園地による差が大きいため、果実が存在する園地では昼間に定期的に確認し、カメムシ類の飛来を確認したら速やかに農薬の散布を行う。
- (2) 気温が高くなる6月以降は、夜間に園地内または園地周辺の外灯等を確認する。
- (3) 薬剤を散布する際は、別表「カメムシ類に登録のある主な薬剤」を参考に行う。
- (4) 薬剤散布後も園内を観察し、再度飛来を確認した場合は、追加の散布を行う。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は早くからカメムシ類防除が必要となる可能性があるため、薬剤選定をする際は使用回数に留意すること。
- (2) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。

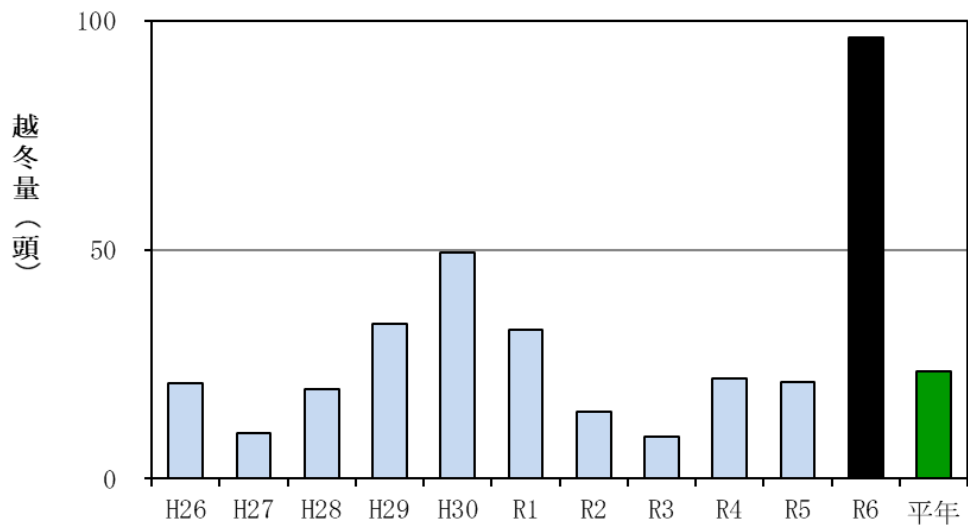


図1 クサギカメムシの越冬量(隙間トラップ調査)
(2月調査、10か所平均)



図2 ビワ幼果を加害する果樹カメムシ類
(左：ツヤアオカメムシ、右：クサギカメムシ) (令和6年4月19日撮影)

(参考：その他の果樹カメムシ類と被害)



チャバネアオカメムシ



ナシの被害



モモの被害

表 カメムシ類に登録のある主な薬剤の使用方法和残効期間

(令和6年4月23日現在・山口県病害虫防除所作成)

殺虫剤コード (系統) ※1	農薬名	登録のある作物および使用方法						残効期間 ※3 (被害防止効果)
		ナシ	モモ	リンゴ	ウメ	カンキツ	ビワ	
4A (ネオニコチノイド)	アクタラ 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 7日前 2回以内	2,000倍 7日前 2回以内	2,000倍 14日前 3回以内		10日程度 * アドマイヤー 顆粒水和剤は 1,000倍の場合、 残効がやや 短くなる
	アドマイヤー 水和剤	1,000倍 3日前 ※4 2回以内	1,000倍 3日前 ※4 2回以内					
	アドマイヤー フロアブル		5,000倍 3日前 ※4 2回以内			2,000～ 5,000倍 14日前 ※4 3回以内	2,000倍 7日前 ※4 2回以内	
	アドマイヤー 顆粒水和剤 *	5,000～ 10,000倍 3日前 ※4 2回以内	5,000～ 10,000倍 3日前 ※4 2回以内	5,000倍 3日前 ※4 2回以内		5,000～ 1,0000倍 14日前 ※4 3回以内		
	アルパリン (スタークル) 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 2回以内	
	ダントツ 水溶剤	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	
3A (ピレスロイド)	テルスター 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 2回以内	1,000倍 14日前 2回以内			1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 2回以内	10日程度
	テルスター フロアブル	3,000～ 6,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 1回以内	3,000倍 前日 2回以内	3,000～ 6,000倍 前日 3回以内	3,000倍 前日 2回以内	
	マブリック 水和剤20	2,000倍 30日前 2回以内				2,000～ 4,000倍 45日前 シシ21日前 2回以内		
	アグロスリン 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 5回以内			2,000倍 7日前 3回以内		
	アディオ 乳剤	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 7日前 6回以内			2,000倍 14日前 6回以内		
	アーデント 水和剤	1,000倍 7日前 3回以内	1,000倍 前日 3回以内					
1B (有機リン)	スミチオン 水和剤40	800～ 1,000倍 (有袋)14日前 (無袋)21日前 6回以内	800～ 1,000倍 3日前 6回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内				1～2日
2B (フェニルピラゾール)	キラップ フロアブル			2,000倍 14日前 2回以内				7～10日

※1 数字と記号はIRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)による作用機構分類コード

※2 同一成分の薬剤は使用回数を通算して数えること(散布の場合)。

※3 残効期間は他県、日本植物防疫協会およびメーカーのデータを参考に作成した。
あくまで目安であり、天候などの条件で短くなる場合がある。

※4 ただし、露地の場合は発芽期から開花期を除く